

The Lung

神戸大学大学院医学研究科
呼吸器内科学

第2巻 第3号

発行:650-0017神戸市中央区楠町7-5-1

神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科

TEL:(078)382-5846 FAX:(078)382-5859

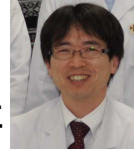
<http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html>

ごあいさつ

今年の夏は長かったせいで、秋は短く感じました。もうすでにインフルエンザの季節到来といった感ですが、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年の10月8日には神戸大学昭和62年卒山中伸弥教授のノーベル賞受賞の発表がありました。12月10日にストックホルムで授賞式が行われるとのことですが、閉塞感のある日々の中我々にとっても非常に明るい話題で、嬉しくもあり、励みになるものでした。山中先生は多くの名言を残されていますが、周りの人への感謝の気持ちもたくさん述べられています。私達も感

准教授 西村 善博



作を忘れることなく、『真理を明らかにする』ためにペールの1枚でも、あるいはその端っこでもめくることができるよう日々精進したいと思います。

さて、前回もお伝えしましたが、今年度冬の日本呼吸器学会近畿地方会を私共が担当させていただくことになっております。初期研修医・医学部学生の発表に対して優秀演題を選出し表彰するアワードを本学会では初めて設けました。盛会にしたいと考えております。多くの先生方のご出席、質疑へのご参加をお待ちしております。何卒よろしく御願いたします。

目次:

ごあいさつ	1
SASについて市民公開講座を開催しました	1
学位発表	2
ERS2012報告	2

第80回日本呼吸器学会・第110回日本結核病学会近畿地方会

日時:平成24年12月15日(土)午前9時~午後5時(予定)

場所:神戸国際会議場

ホームページ:<http://plaza.umin.ac.jp/~kinki/jrskinki80.html>

睡眠時無呼吸症候群についての市民公開講座を開催しました。

特命講師 小林和幸



昨年度より帝人在宅医療株式会社との共同研究という形で、睡眠呼吸管理部門が設立されました。その社会活動の一つとして11月18日に大学病院敷地内のシスメックスホールで市民公開講座を開催いたしました。

初めに睡眠時無呼吸症候群(SAS)の病態や診断、治療について講演させていただいた後、本講演のテーマである「生活習慣病と睡眠時無呼吸症候群」という観点から、私がSASに合併する循環器疾患について講演をさせていただき、第2部として医療法人川崎病院院長・中村正先生に肥満、糖尿病とSASについての講演を行っていただきました。

講演後には参加いただいた市民の方々から活発な質問が飛び交いました。SASの検査方法や治療方法についての質問から、ダイエットに対する運動療法の仕方など具体的な質問もありました。また、参加いただいた市民の方々に、SASのスクリーニング問診票をお配りしたところ、問診でSASが疑われた市民の方々から、「私も詳しい検査をしてほしい」との申し出が複

数ありました。あらためて、市民の方々の、本疾患への関心の高さを認識いたしました。

86名の市民の方にご参加いただきました。講演後のアンケートでは皆さん、大変満足されたようであり、主催した我々も今後の診療の励みになると喜んでおります。第2回の市民公開講座を期待される声も多くありましたので、継続して開催できるよう今後も努力していきたいと思っております。



市民公開講座

生活習慣病フォーラム
～あなたの呼吸とまっていますか?～

睡眠時無呼吸症候群(SAS)は、高血圧、心臓病、脳卒中、糖尿病など生活習慣病の発症に大きく関わっている可能性が指摘されています。また、いびきや睡眠中の無呼吸は睡眠の質を低下させ、日中の疲労などにより交通事故や労働ミスなどを起こすことがあります。今回の市民公開講座では最新の診断・治療を学び、生活習慣病の予防をするためにSASの診断や検査・治療方法について紹介します。

日時: 2012年11月18日(日)
14:00-16:30

場所: 神戸大学医学部附属病院 シスメックスホール

参加費: 無料(申し込みは特に必要ありません)

特別講師: 司会 神戸大学大学院医学研究科 呼吸器内科学准教授 西村 善博 先生
「生活習慣病と睡眠時無呼吸症候群」
神戸大学大学院医学研究科 呼吸器内科学特命講師 小林 和幸 先生
医療法人川崎病院院長 中村 正 先生

【問い合わせ先】
〒650-0085
住所 神戸市中央区東川崎町1-2-21
TEL: 078-271-0222 FAX: 078-271-0205
神戸大学医学部附属病院
庶務課 7号上 2階
共催 神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科学
医療法人川崎株式会社 神戸アール・ビル株式会社

学位審査発表を行いました

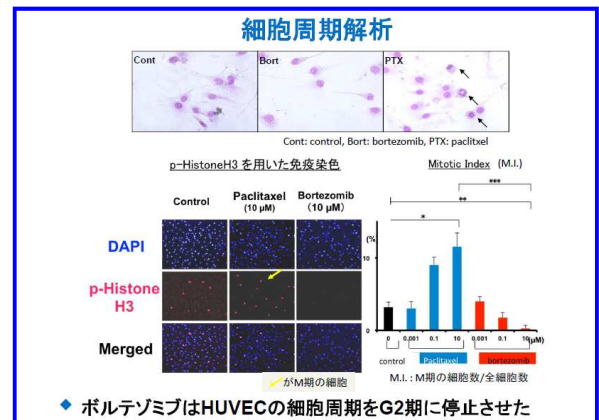
平成15年卒の田村大介です。私はこの9月に西村先生を始め多くの先生のご指導を賜ったおかげで、大学院(呼吸器内科学分野)を無事修了いたしました。修了に先立ち、総合内科の秋田穂東先生に主査を、呼吸器外科の吉村雅裕先生と腫瘍・血液内科の南博信先生に副査をお願いし、8月20日に学位論文の審査をして頂きました。

私の学位論文の邦題は「ボルテゾミブはG2/M移行期での細胞周期抑制を通して血管内皮細胞の増殖を強く抑制する」です。ボルテゾミブは主に再発多発性骨髄腫に使用される薬剤ですが、本研究はボルテゾミブの血管内皮細胞に対する影響について研究したもので、従来ほとんど行われなかったボルテゾミブ暴露による血管内皮細胞のG2/M移行期における細胞周期の停止やその機序、さらにはボルテゾミブの血管透過性を惹起する性質を示すことによりその薬剤の血管破壊薬としての可能性について重要な知見を得たものとして、審査していただいた先生に評価をいただきました。審査に当たったの質疑応答に際しては、久しぶりに、非常に緊張いたしました。何とか先生方の質問に答えることができました。

この度学位を無事取得できたのは西村先生や小谷先生を始めとした

平成15年卒 田村 大介

教員の先生方のご指導、また実験の直接的な指導をしてくださった近畿大学医学部ゲノム生物学教室の西尾和人教授のご指導なくしてなしえなかったことです。また近大での実験生活を続けるにあたって大学を不在にすることが多く、その際に呼吸器内科の全ての先生方にご負担をおかけしたことも多々ありました。この場を借りて関係して下さった先生方に改めて感謝申し上げたいと思います。大学院で学んだことは臨床の現場だけでは得難い、医師・科学者としての財産になると思います。これを糧に今後も精進いたしますので今後ともご指導のほど宜しくお願いいたします。



欧州呼吸器学会2012での発表報告



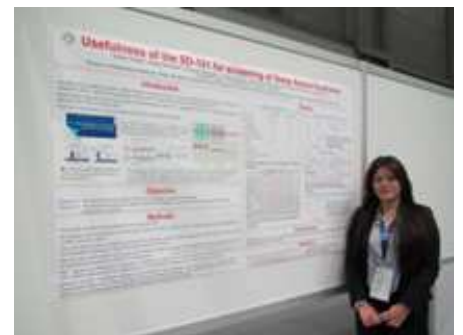
欧州呼吸器学会EUROPEAN RESPIRATORY SOCIETY (ERS) は2012年9月1日から9月6日までウィーンで開催されました。5月の国際学会に続き、2回目の国際学会でしたが、全く違う経験をさせて頂きました。フランクフルト空港がストライキで大混乱の中、ウィーンに無事到着したと安堵したのも束の間、スーツケースとポスターが出てこないという最悪の事態に見舞われました。欧州旅行ではよくある事と云われますが、まさか自分が遭うとは。真夜中にポスターが届いたときは思わず、ビールで乾杯しました。発表は大変緊張しましたが、なんとか無事にディスカッションができました。

前回の国際学会では、ポスター作りと発表で精一杯でしたが、今回はモーニングセミナーや他の教育セッションにも参加し、企業のレセプションも参加しました。睡眠時無呼吸症候群に関するものだけでなく、内視鏡や肺高血圧治療剤、吸入剤など積極的に参加しました。モーニングセミナーは朝7時からの開催で、朝日を見ながら会場に向かいました。会場は、朝早くから多数の参加者で溢れ、活発な意見が飛び交い、大変勉強になりました。

今回の発表に際しまして、西村先生、小林先生、呼吸器検査技師の森本茜さん、夜遅くに睡眠検査

平成14年卒 櫛木 暢子

の装着や解析にご協力いただいている検査技師の方々など多数のスタッフにご協力いただき、無事に発表を終えることができました。このような貴重な機会を頂きまして誠に有難うございました。今後の研究、診療にいかせるよう頑張っています。



The Lung

神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科学

電話 078(382)5846

FAX 078(382)5859

Email: <http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html>

肺がんから「せき」「息切れ」まで
何でもご相談下さい！

